

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第1回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	平成25年5月23日（水）午後6時～8時
開 催 場 所	緑が丘ふれあいセンター
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）久米清孝、河野俊子、田中勝子、藤原アヤ子、堀越千草、遊佐光子 欠席者：内野正夫、栗原誠、小西喜芳、酒井敦子 事務局：協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
議 題	議題1 緑が丘ふれあいセンター職員との意見交換会 議題2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 緑が丘ふれあいセンター職員との意見交換会 男女共同参画推進市民委員会と緑が丘ふれあいセンターの職員が連携及び協力し合いながら、男女共同参画の形成及び促進を図っていく。 議題2 その他 第2回委員会は平成25年6月10日(月)午後6時から開催し、開催場所については後日、各委員に通知する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) ◎印：委員長 ○印：委員 ●印：事務局 □印：ふれセン職員	議題1 緑が丘ふれあいセンター職員との意見交換会 ● 昨年度、男女共同参画推進市民委員会では練馬区の男女共同参画センター「えーる」を視察した。資料1の視察結果を参考に、本日は緑が丘ふれあいセンター（以下「ふれあいセンター」）職員との意見交換をしていただき、男女共同参画の施策の推進に向けて有効に活用してもらいたい。 ◎ 昨年度の男女共同参画センター「ゆーあい」（以下「ゆーあい」）の自主事業及び今年度の事業計画について説明していただきたい。 □ ゆーあいでは相談事業、男女共同参画推進自主事業、交流サロン事業を中心に様々な事業を実施している。昨年度の男女共同参画推進自主事業は子育て中の男性向けを中心に連続講座を開催した。また、今年度については新規事業として自主上映会、男性を対象にした連続講座の「男塾」、女性を対象にした連続講座の「女性のキラキラかがやき塾」を開催し男女共同参画の推進を図っていく予定である。 ◎ ニットカフェとはなにか。 □ 通常は部屋の申請を行っていただき、部屋を利用してもらおうが、終日、一部の部屋を開放し、誰もが気軽に参加できる場を設け、おりがみ等の作業を行いながら交流を深める場である。 ○ 女性のなやみごと・生き方相談の実績が0件の月があるが、なぜなのか。 □ 予約は毎月あるが、当日キャンセルになるケースがある。 □ 昨年度から男性向けの講座を定期的実施しており、今後も継続して実施する事業であることから、より多くの男性に参加してもらうためには、どのように工夫等をしたらよいかのアドバイスをいただきたい。 ◎ 地域で活動を行っている方々は女性が多く、男性はあまり地域活動に参加しない傾向があると思う。そのため、講座等の行事に参加してもらうのは難しい。 ○ 自治会や老人会などでは多くの男性がイキイキと活動している場合

があるので、自治会や老人会などにもチラシ等の広報活動を行ってはどうか。また、緑が丘ふれあいセンターは市の東側にあるので、市の西側に住んでいる市民は参加しづらいと思う。

- 平成23年度に開催した男女共同参画市民委員会との意見交換では緑が丘ふれあいセンターに来館しづらい市民向けに「出前講座」を開催してはどうか、という意見をいただいているが、実施には至っていない。今後は「出前講座」を開催できるよう人員体制等を整え、検討していきたい。
- ◎ 中原や伊奈平などの西部地区に住んでいる市民には未だ緑が丘ふれあいセンターが認知されていないと感じるので、緑が丘ふれあいセンター及び「ゆーあい」の事業等をもっと広報した方がよい。
- 西部地区の人たちに広報するにはどのような手段をとればよいか。
- 自治会に回覧依頼をしてみてもどうか。また、自治会の連合会や老人会の連合会に依頼してもよいと思う。
- 自治会に回覧依頼したことはあるが、回覧だとチラシを見てもらえずあまり効果は得られない。口コミが1番の効果がある。
- 地区会館や図書館にはチラシ等を設置しているのか。
- 設置していない。
- 地区会館は生涯学習スポーツ課、図書館には雷塚図書館に依頼すれば配布してもらえるので、今後、広報する上で活用した方がよい。
- 広報については市内に限らず、立川や東大和の公共施設にもチラシ等の設置依頼をしている。
- ◎ 本市の交通の利便性が低いことを逆にとり、各地区会館で「出前講座」を実施すれば、各地域の市民に周知できると思う。
- 現在は月に3回程度、自主事業を実施しており、それ以外に各地区会館で「出前講座」を実施するとすると、人員が不足しており難しい。
- 市に予算の増額を要求することはできないのか。
- 一定の成果を挙げてから、その実績について係った経費等を検証し、予算を要求してもらわないと市としては予算を増額することは難しい。
- 緑が丘ふれあいセンターの案内看板が江戸街道沿いに設置してあるが、非常に見づらく分かりづらい。歩道橋に案内看板を設置するなどの改善はできないのか。
- 利用者からも分かりづらいという意見をいただいている。
- 緑が丘ふれあいセンターはいつ設立されたのか。
- 平成18年度である。
- 市報に緑が丘ふれあいセンターの自主事業が掲載されているが、地図を載せる事はできないのか。
- 市報のスペースが限られているので難しいが、市のホームページには掲載することができる。
- 自主事業を多く実施し頑張っているが、緑が丘ふれあいセンターという施設があまり知られていないことが残念である。
- 昨年度、練馬区の男女共同参画センター「えーる」を視察した感想を聞かせていただきたい。
- ◎ 駅から近いという利便もあるが、有料でありながらも全ての部屋が利用されていることに驚いた。
- 明るくて居心地がよい空間があり、利用者がイキイキと活動していたのが印象的であった。
- 利用者が作成した男女共同参画カルタが斬新でおもしろかった。

	<p>○ 男女共同参画センター「えーる」の職員が施設を利用する演劇団体や音楽団体などの活動を自主事業として活かせるように演劇や音楽などの発表の場を自主事業として実施し、施設を利用する団体と協力して運営していた。</p> <p>● 施設利用者の受益者負担の考え方が本市より理解されているように感じられた。また、男女共同参画を担当している職員の熱意が非常にあり、施設を利用している団体を如何にして自主事業を結び付けるかをよく考えていた。</p> <p>□ 男女共同参画に関係のない団体とどのような事業を行っているのか。</p> <p>● 例えば、DVを啓発するために事業を実施すると考えると、施設を利用している演劇団体にDVの演劇を依頼するなど、男女共同参画にあまり関係のない団体及び区民に対して啓発していた。また、施設を利用する当たり、男女共同参画に資する目的をもった団体として活動してもらおうよう、男女共同参画センター「えーる」の自主事業に団体の活動を結び付けるなどの支援をしていた。</p> <p>◎ 今後はより一層、男女共同参画推進市民委員会と緑が丘ふれあいセンターの職員が連携し協力し合いながら、男女共同参画の形成及び促進を図っていきたい。</p> <p>議題2 その他 (第2回委員会開催日程) ◎第2回委員会は6月10日(月)午後6時から開催し、開催場所については後日、各委員に通知する。</p>
--	---

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： _____ 0 人</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">[]</p>
-------------------------	--

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： _____)</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： _____)</p>
--------------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>生活環境部 協働推進課 (内線： 243)</p>
--------------	-------------------------------

(日本工業規格A列4番)